

学校施設等の照明 LED 化更新及び中学校体育館等の空調設置に関する サウンディング型市場調査 結果一覧

1 イニシャルコスト削減の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・照明メーカーの選定によりイニシャルコストを軽減可能 ・リース導入によりイニシャルコストを平準化 ・文科省の照度基準を確保し、照度を落とせる場所があれば、それを見越して導入機器を選定し、初期コストを軽減 ・タスクアンビエント照明により、台数削減の可能性あり ・全校一括施工及び早期施工が経費の削減に繋がる。 ・体育館の空調整備については、EHP のスポット空調が一番安価で整備が可能 ・断熱に関しては、断熱塗装、窓の遮熱フィルムの対応により経費軽減が可能 ・ESCO 事業の実施による削減 ・器具交換は環境負荷が高い。
2 維持管理コストの最小化の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・日本照明工業会の発信情報に基づき、落下・感電・火災（発煙・発火）などのリスク（損害賠償額等）を最小化するため、将来的な維持管理費用の軽減のため、器具交換を推奨 ・集中管理によるデータの見える化 ・体育館は、昼光センサーや EMS デマンド連動などによる LED 調光制御により、光熱費を削減 ・環境教育の出前講座の実施により使用者の意識変容を促す。 ・初期設定値の見直し ・一括発注方式による職員人件費の軽減 ・照明に関しては、BTO 方式により、維持管理経費を削減 ・将来的なことを考え、光源交換できる器具にすることが有効 ・照明は、国内メーカーを推奨 ・リースであれば、リース期間＝保守期間となる。 ・高効率機器の採用やオーバーホール等の定期整備を必要としない電気式エアコンの採用 ・ガス空調の場合は、キュービクルの増設は不要 ・空調制御機器の利用で、節電効果がある。 ・業務用プラズマ発生器で夏冬の断熱効果がある。
3 提案内容に基づく概算費用について
<当該項目は非公開とします。>
4 提案内容に基づく想定工期及び工事時間等について
<ul style="list-style-type: none"> ・工期はおおよそ7～10日で1校、3週間程度で全体体育館 ・工期はおおよそ4日で1体育館 ・施工方法、施設大小のボリュームにもよるが工期は2週間から4週間で実施可能 ・体育館は2日で1体育館、予備日入れて3日間 ・図書館は4日程度で対応可能 ・町内業者は、できれば地域経済活性化や貢献の為に、極力優先したほうがよい。 ・特殊な器具は、納期に時間がかかるため、十分な準備期間が必要 ・小中学校は夏期休業期間中、図書館は蔵書点検期間での対応は可能 ・夏期休業期間で全て対応することは難しい。せめて夏、冬、春休みの期間が必要 ・夏期休業期間での実施に当たっては、1校当たり、平日の月～金の5日間で実施可能 ・夜間の対応や土日祝でも対応可能
5 施設利用者への安全管理方法等について
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がいない時間帯や夏休み期間中での施工 ・夏期休業期間中や休館日の施工により、施設利用者との接触機会を減らす。 ・カラーコーンの設置により、動線を確保 ・周辺住民への事前周知 ・安全研修等の実施 ・利用時間外での作業、区画分け
6 補助金活用の可能性について
<ul style="list-style-type: none"> ・地域レジリエンスの補助金活用（環境省） ・学校施設環境改善交付金と学校教育施設等整備事業債の併用による地方交付税の入金効果が見込める。

- ・学校施設環境改善交付金の活用
- ・活用予定の補助金があるならば、その旨仕様内容に記載しておいてほしい。
- ・手法により、地方債活用による経費削減は可能であるが、監査対象となる成果物の作成に経費がかかる。

7 付加価値として提案可能な業務について

- ・地元事業者の活用
- ・災害対策系の対応
- ・ZEBの可能性調査
- ・学校の環境改善に関しては、加算方式でのプロポーザル対応は可能
- ・省エネに関する学校教育の推進協力も可能
- ・手洗い場の節水装置の設置
- ・トイレの自動水栓化
- ・太陽光発電の設置
- ・体育館、格技場への自家発電設置
- ・体育館空調のBCP対応として、熱源をガスで対応
- ・無線制御の調光制御照明システムを導入
- ・自由提案に関しては、町の課題を明確に記載してほしい。
- ・現場での綿密な協議を行う。

8 付随工事について

- ・要望に応じて実施
- ・無線制御

9 契約締結までのスケジュール、業務期間及び履行体制の考え方

- ・機器の納品が4ヶ月くらいかかるため、できるだけ早い段階で、公募を開始してほしい。
- ・4月に詳細調査が完了するスケジュールで設定
- ・1月発注でも問題ない。
- ・事業者決定は来年3月まで、詳細設計・協議は来年3月から6月まで4ヶ月の期間がほしい。
- ・現地調査については、学校の休業日に実施をしたい。現地調査期間は、1校/日で実施可能
- ・事業者選定は、6月中旬までに済ませておくべき。
- ・夏休みを活用出来るスケジュールが望ましい。
- ・施工時期から逆算した公募のタイミングを検討

10 公募時に開示して欲しい資料等について

- ・図面一式
- ・電気図面については、はしお元気村及び図書館は必要、小中学校のLED化のみの場合は不要、体育館・格技場の空調化計画時は必要
- ・工事期間内の学校の予定
- ・その他工事予定
- ・アスベストの含有状況
- ・つりボルトの条件の開示
- ・使用エネルギー量
- ・光熱水費一覧
- ・維持管理費
- ・照明機器リスト
- ・納入仕様書
- ・機器の使用時間・運転時間の一覧
- ・過去のPCB結果
- ・廃棄可能場所、駐車場有無、資材置き場

11 事業を受託するに当たり、現段階で当町に要望する事項等について

- ・ESCOは対応が難しい。
- ・機器の納品が4ヶ月くらいかかるため、できるだけ早い段階で、公募を開始
- ・業務仕様、必須業務、空調整備の用途及び事業のリスク分担の明確化
- ・特に自然災害などの不可抗力が働いた際のリスク分担のあり方については仕様に要記載
- ・公募前に業務責任分担等の整理
- ・スケジュール及び応募要件、器具数の内訳、稼働状況の開示
- ・省エネ削減目標や、導入予定の機器のスペック、既存の照明スペック等の情報を公募段階で明確に開示してほしい。

- ・工事期間については、夏休みを含めた土日を活用するなどとし、夏休みに限定させると厳しいと考える。
- ・価格点を低く設定
- ・現地調査
- ・窓口の一本化
- ・省エネ、環境、啓蒙提案、付加価値等を重視した加点にしたほうが良い、将来的には必ず町の為になる。
- ・独自提案は、自由形式で提案できると良い。
- ・緊急時の対応として、奈良県内に営業所を設置していることを必須とするべきである。
- ・仕様の作成に当たっては、自由度の高い仕様内容とし、詳細内容は事業者決定後、詳細協議により決定していくなどの対応としてほしい。
- ・詳細協議の時間を多く持つべき。
- ・公募時は、更新のノウハウ、提案、選択肢について、広く対応してほしい。
- ・照明単独でも参加可能な入札を希望

12 ESCO事業の実施可能性について

- ・シェアードESCOは可能
- ・照明のみの事業であってもギャランティードESCOの活用は可能

13 その他

- ・ランプ交換のみの事業とした場合、不具合時の対応に時間や責任所在を明確化させるのに時間や手間がかかるため、器具交換の方が良い。
- ・補助金等の観点からも、はしお元気村の空調整備事業と今回の事業とは別発注の方がよい。
- ・ESCO 期間完了後のアフターフォローに関する内容は詳細に提案をしてもらったほうが良い。(以降の管理が重要)
- ・ナイター照明設備があるならば、今回の事業に入れるのか否かを明記する必要がある。ナイター照明は正直、整備の費用対効果は悪い。